



ほこた市

平成27年10月31日発行

No.41



議会だより



平成27年第2回・第3回臨時会 第3回(9月)定例会

平成27年第2回・第3回臨時会の概要	P2
平成27年第3回定例会の概要	P3
提出議案と審議結果	P2~3
特別委員会名簿	P4
決算特別委員会審査報告	P5
平成27年第3回定例会 主な質疑／主な討論	P6
各議員の賛否	P7
ここが聞きたい! 一般質問	P8~14
主な議会の動静	P14
委員会活動報告	P15~16
請願審査／意見書提出	P17~19
傍聴者の声 平成27年第2回(5月)定例会の予定	P20



~大和田小学校 運動会~

平成27年第2回臨時会の議事日程

- 7月21日(火) 本会議
- ・開会
- ・会議録署名人の指名
- ・会期の決定
- ・諸般の報告
- ・市長提出議案の説明
- ・質疑・討論・採決
- ・閉会

第2回臨時会の概要

平成27年第2回臨時会は、7月21日の1日間の会期で行われました。

議案は、市長から銚田市スクールバスの運行に関する条例の制定及び一般会計補正予算が提出されました。

銚田市スクールバスの運行に関する条例については、スクールバスの利用料や利用できる対象者などについて質疑がありました。討論のあと、採決が行われ、賛成多数で可決されました。

また、一般会計補正予算については、スクールバスや銚田市内の主要な交差点に設置する防犯カメラの設置場所などについて質疑があり、採決の結果、全会一致で可決されました。

平成27年第3回臨時会の議事日程

- 8月24日(火) 本会議
- ・開会
- ・会議録署名人の指名
- ・会期の決定
- ・諸般の報告
- ・議員提出議案の説明
- ・質疑・討論・採決
- ・閉会

第3回臨時会の概要

平成27年第3回臨時会は、8月24日の1日間の会期で行われました。

議案は、議員から(仮称)銚田市民交流館整備に関する特別委員会の設置について及び小学校跡地利活用に関する特別委員会の設置についての2議案が提出されました。

(仮称)銚田市民交流館整備に関する特別委員会の設置については、質疑、討論のあと、採決が行われ、賛成多数で可決されました。

小学校跡地利活用に関する特別委員会の設置については、質疑のあと、定数を変更する修正案が提出され、採決の結果、賛成多数で可決されました。次に、修正部分を除く原案について採決され、全会一致で可決されました。

平成27年第3回定例会の主な日程

- 9月10日(木) 本会議
 - ・行政報告並びに市長提出議案の説明
 - ・監査報告
- 9月14日(月) 本会議
 - ・一般質問
- 9月15日(火) 本会議
 - ・一般質問
- 9月17日(木) 本会議
 - ・決算及び財団報告に関する質疑
- 9月18日(金) 本会議
 - ・議案第8号～第24号の質疑・討論・採決
 - ・議案第9号～11号の提案説明・質疑・討論・採決
- 9月24日(木) 決算特別委員会
 - ・総務企画常任委員会
- 9月25日(金) 決算特別委員会
 - ・経済建設常任委員会
- 9月28日(月) 決算特別委員会
 - ・厚生文教常任委員会
- 9月30日(水) 本会議
 - ・議案第1号～7号の委員長報告・質疑・討論・採決
 - ・請願第27・3号～27・6号の委員長報告・質疑・討論・採決
 - ・議案第12・13号の提案説明・質疑・討論・採決

第3回定例会の概要

平成27年第3回定例会は、9月10日から9月30日までの21日間の会期で行われました。

議案は、市長から平成26年度一般会計、特別会計及び水道事業会計の決算認定や条例の一部改正、一般会計及び特別会計の補正予算、市政倫理審査会委員の任命などが提出され、また、平成26年度健全化判断比率や資金不足比率、銚田市健康づくり財団の経営状況など4件の報告がありました。

議員からは(仮称)銚田市民交流館整備に関する特別委員会の定数変更や百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会及び原子力施設の安全に関する調査特別委員会の設置についての議案が提出され、平成27年度一般会計補正予算に対する修正案も提出されました。

一般質問は、12人の議員から通告があり、銚田・行方・潮来市一般廃棄物広域ごみ処理施設に関することや、(仮称)銚田市民交流館に関すること、ふるさと納税についてなど市政全般に関する質問が行われました。

決算特別委員会では、付託された平成26年度一般会計等の決算について集中審議が行われ、また、各常任委員会では、請願審査や所管事務調査が行われました。

今回の定例会では、決算、補正予算、条例、人事など23の議案が可決され、平成27年度一般会計補正予算は修正案、原案ともに否決となりました。請願は3つが採択され、1つが不採択となりました。

提出議案と審議結果

● 賛成多数
▲ 賛成少数
△ 継続審査

平成27年第2回銚田市議会臨時会

● 条例・規則の制定
● 銚田市スクールバス運行に関する条例の制定

● 平成27年度補正予算
○ 平成27年度銚田市一般会計補正予算(第3号)

平成27年第3回銚田市議会臨時会

● 特別委員会の設置
● (仮称)銚田市民交流館整備に関する特別委員会の設置

● 小学校跡地利活用に関する特別委員会の設置(修正案)
○ 小学校跡地利活用に関する特別委員会の設置(修正部分を除く原案)

平成27年第3回銚田市議会定例会

● 平成26年度決算認定
● 平成26年度銚田市一般会計歳入歳出決算認定

● 平成26年度銚田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
● 平成26年度銚田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
● 平成26年度銚田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定
● 平成26年度銚田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定
● 平成26年度銚田市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
● 平成26年度銚田市水道事業会計収入支出決算認定

● 条例・規則の一部改正
● 銚田市手数料徴収条例の一部改正

● 銚田市家庭的保育事業等の設備及び管理に関する基準を定める条例の一部改正
● 銚田市立幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部改正

平成27年度補正予算

- ▲ 平成27年度銚田市一般会計補正予算(第4号) 修正案
- ▲ 平成27年度銚田市一般会計補正予算(第4号)
- 平成27年度銚田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 平成27年度銚田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 平成27年度銚田市介護保険特別会計補正予算(第2号)
- 平成27年度銚田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成27年度銚田市下水道事業特別会計補正予算(第1号)

契約

● 工事請負契約の締結

訴えの提起

● 訴えの提起(2件)

人事

● 銚田市政倫理審査会委員の任命(5件)

請願

- 教育予算の拡充を求める請願
- TPP(環太平洋連携協定)交渉に関する請願書(2件)
- ▲ 安保関連法案は平和憲法を破壊する戦争法案です。銚田市議会が廃案を求め、また国会で立法措置を行わないように意見書を出すことを求める請願書

議員提出議案

特別委員会の設置等

- (仮称)銚田市民交流館整備に関する特別委員会に対する修正案
- 百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会の設置
- 原子力施設の安全に関する調査特別委員会の設置

意見書の提出

- 教育予算の拡充を求める意見書
- TPP(環太平洋連携協定)交渉において農林水産分野の重要5品目などの聖域の確保を最優先し、交渉脱退も含め衆参両院の農林水産委員会における国会決議を遵守することを求める意見書

平成27年第3回定例会

〈本会議〉
9月18日

議案第11号
平成27年度銚田市一般会計補正予算（第4号）

○提案趣旨

補正の主な内容は、銚田大洗間の路線バスの運行を行うためのバス対策補助金、（仮称）銚田市民交流館の整備に係る管理運営基本計画、排水・下水道設計業務委託料及び追加用地取得のための公有財産購入費、老朽化に伴う旭総合支所空調設備改修工事費、（仮称）銚田市民交流館進入路設計委託料ほか市道冠水対策及び排水対策を促進するための設計委託料及び工事費などの増額等を計上するものです。

主な質疑

問

（仮称）銚田市民交流館の追加用地については、レストランを作るということと検討しているということだが、正式なものか

答

レストランにするか、銚田市の農業をPRする施設にするか、

もしくはアスレチックなどの子どもたちの遊べる場所にするかなどは正式には決まっておられません。しかし、いずれの施設をつくるにしても現在の用地だけでは足りないため追加用地の予算を計上いたしました。

○反対討論（高野 衛議員）

（仮称）銚田市民交流館の追加用地取得については、その使用目的が銚田市民交流館整備推進委員会等でも結論が出ておらず、専門家を交えたさらに慎重な検討が必要であります。また、マイナンバーに係る臨時職員の賃金などの事務費が計上されており、市民の情報漏れ、不正使用の懸念や不安が広がっていることから原案に対し反対いたします。

○原案賛成討論（倉川 陽好議員）

この補正予算は、道路の新設や維持管理、職員の給料、民生費についてもさまざまのものが網羅されているなど、市民の生活の向上に大いに寄与するものであるもので、原案に賛成いたします。

○修正案賛成討論（岸田 一夫議員）

（仮称）銚田市民交流館整備事業に関連する予算については、この事業は事業内容がたびたび見直しされ、また今回の補正予算についてはその目的が不明瞭であることから多くの市民として議会と目的を共有していません。そのため、（仮称）銚田市民交流館整備事業に関連する予算を全て削除する修正案を提出するものです。

審議結果は次のページ

各議員の賛否が分かれた議案等を掲載

会議名	議案名	議員名		採決結果																				
		反対討論	賛成討論	井川	渡辺	龜山	岸田	二重	郡司	小沼	根崎	小沼	水上	入江	岩間	井川	米川	友部	山口	田口	堀野	高野	倉川	
第2回臨時会	銚田市スクールバスの運行に関する条例の制定について	高野	入江	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第3回臨時会	（仮称）銚田市民交流館整備に関する特別委員会の設置について	倉川	井川（倫）	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小学校跡地利活用に関する特別委員会の設置について（修正案）	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小学校跡地利活用に関する特別委員会の設置について（修正部分を除く原案）	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第3回定例会	銚田市手数料徴収条例の一部改正について	高野	根崎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	銚田市立幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部改正について	高野	入江	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成26年度銚田市一般会計歳入歳出決算認定について	高野	根崎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成26年度銚田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	高野	根崎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成26年度銚田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	高野	入江	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成26年度銚田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	高野	入江	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成26年度銚田市農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定について	高野	友部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成26年度銚田市公共下水道特別会計歳入歳出決算認定について	高野	小沼（幸）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成26年度水道事業会計収入支出決算認定について	高野	友部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成27年度銚田市一般会計補正予算について（修正案）	※下記参照		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度銚田市一般会計補正予算について（原案）	※下記参照		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
（仮称）銚田市民交流館整備に関する特別委員会に対する修正案	高野	倉川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○：議案に対して賛成 ●：議案に対して反対 議：議長 欠：欠席 退：退席

※平成27年度銚田市一般会計補正予算（第4号）の討論
原案賛成：倉川議員 原案反対：高野議員 修正案賛成：岸田議員

欠席者	
第3回定例会	
9月15日	本会議
倉川 陽好	
9月17日	本会議
田口 清一	

ここが聞きたい!! 一般質問

12人の議員が一般質問

議員名	質問事項
倉川 陽好	1. 集落排水事業について 2. 国道51号台濁沢信号付近の排水路整備について 3. 宅地計画について(安全・安心な街づくりとして) 4. 広域焼却場建設について 5. 定住人口対策について 6. 公職選挙法について
二重作 茂兵衛	1. 道路整備事業について
亀山 彰	1. 中学校の現状について 2. 茨城国体について 3. 窓口業務の開設時間延長と日曜日開設について 4. 地域産業振興策について 5. ふるさと納税について 6. 合併特例債について 7. まち、ひと、しごと創生法について
渡辺 拓哉	1. クリーンセンターのゴミについて 2. 小学校の統合後の住民の評価
小沼 勝	1. ブランドアップ事業、メロンサミット開催について 2. PED対策について
水上 美智子	1. 子育て支援について 2. 高齢者対策について 3. 動物愛護条例について 4. 教育環境の充実について
根崎 眞	1. 銚田市民交流館建設事業の十分な説明について
入江 晃	1. プレミアム商品券発売について 2. 道路交通法改正に伴う自転車マナー等の向上について 3. 農業経営労働力の確保について 4. 太陽光発電所設置による雨水排水について
高野 衛	1. 安全保障法制について 2. 自衛官募集のための情報提出の問題について 3. 大規模太陽光発電について 4. 中学生通学費補助金交付について 5. 子育て支援対策について
岸田 一夫	1. 基金について 2. 市債について 3. (仮称)銚田市民交流館について 4. 茨城国体開催準備の取組について 5. 総合防災訓練について 6. 畜産業・水産業への支援について
井川 倫士	1. 市民協働のまちづくりを一步前に進めるための政策について 2. 地域再生時代の地域間競争時代にあつて、他自治体と比較した競争力をもつための差別化戦略について 3. 厳しい市経営における財源確保と公平課税について
郡司 功	1. 人口減少、少子高齢化について 2. 百里基地関連予算について



銚田市議会議員
選挙において公職選挙法上の問題点はあったのか
倉川 陽好 議員

問 首長や議員に立候補するためには、立候補者は市選挙管理委員会から説明を受けて、資料等を受け取り、その手順に沿って公職選挙法に違反しないように選挙活動を行います。その結果当選という告知を受けた候補者は、当選後の収支報告書を期日内に提出し、選挙管理委員会による収支報告書等の書類審査を受けて初めて当選人として認知されると思っています。立候補者等への事前説明会から

答 【総務部長】さきの市議会議員選挙においては、多少の問題点が見受けられました。例としては、特に選挙事務所の看板について、シールが貼っていないとか、畑や空き地等の事務所の実態がない場所に立てられ

ているなどの声が多く寄せられました。看板の枚数等については、公職選挙法により市選管の許可をとる規定がありますが、そのような看板が目立つたということが一番多くありました。その件に関しましては、選挙管理委員会においても、候補者全員に対し、2度にわたる注意文書を送付したところですが、現在もそのような看板が見られるのが実情です。また、この看板類のほか

には学校や病院周辺での演説、それから戸別訪問、収支報告書の遅延、立候補予定者が告示前にたすきをかけたの街頭演説など、公職選挙法に抵触するおそれのある事案が見受けられました。選挙管理委員会としても、その都度警察に報告、相談しながら、候補者に注意を促してきており、今後も公平公正な選挙が執行されるよう、啓発活動等に十分努めながら行っていきたくと考えています。



道路整備の進捗状況について
二重作 茂兵衛 議員

問 市道12号線は、青柳地内から借宿地内の計画事業路線です。現在は、借宿の一部の完成にとどまっていますが、青柳までについては何か問題があるのか伺います。問題が解決した場合、青柳地内から借宿地内への完成はいつごろの見通しか伺います。

答 【建設部長】市道12号線については、中間部分に当たる938メートルが未整備区間となっております。この未整備区間については、相続の問題や国土調査時における境界の未確定箇所があり、関係者と協議を重ねてきましたが、進展が見出せないため、今年7月中旬、関係地権者等に集まっていたいただき、現在計画している路線を断念せざるを得ない旨の説明会を開催したところです。今後は新たなルートを選定を行い、

事業推進に向け取り組んでいきたいと考えています。次に、市道8・4105号線の整備について、この路線は、地形上、現道の幅が困難なため、舗装幅員6メートル、側溝の整備、歩道をつけるといったバイパス道の整備となります。全体の幅員は最低でも10メートル近い用地を確保しなければならず、さらにのり部を含めると、地権者の理解を得ることが難しく、事業を進めるのは厳しい状況です。

再質問 栗野橋付近から13号線へ接続する道路は、優先度の高いAランクから外れているのか伺います。
答 【建設部長】ランク付けは外れていません。Aランクですと、整備をするという方向でよろしいか伺います。
答 【建設部長】一昨年の台風により排水の問題で大きな被害を受けた箇所があるので、そちらを優先させていいただき、その後検討していきたいと思えます。



地元企業の振興支援をどのようなビジョンで考えているか
亀山 彰 議員

問 昨年、中小企業基本法が成立して以来51年ぶりに小規模企業振興基本法が制定され、あわせて小規模支援法も制定されました。これまで中小企業施策として、例えば製造業であれば社員数100人以下、資本金1億円以下の中企業と小規模企業は同じくくりの中で施策が行われていましたが、この基本法の制定により、社員数であれば20名以下の小規模企業者に対する施策を分けるこ

答 【産業経済部長】小規模企業が数多く占める本市にとって、これらの企業が地域経済の重要な担い手であるとの認識のもと、小規模企業振興基本法の基本原則である事業の

持続的な発展を図れるよう、小規模企業の振興に努めていく必要があると考えています。本市としては、市を取り巻く自然的、経済的、社会的諸条件に応じた施策を策定し、実施していきたくと考えています。具体的には、茨城県や、地域の経済団体である銚田市商工会とも連携を密に図りながら、小規模企業が持続的な発展を図れるよう、地域企業の育成について検討をしていきたいと考えています。

提言 現在、愛知県の豊明市小規模企業振興基本条例を制定して、市を挙げて地元企業を守るというところで条例をつくって支援していく体制をとっています。ぜひ銚田でも、地元企業を支援するための条例をつくり、地域の産業を活性化していただきたい。地域産業が活性化することは、すなわちこの銚田に雇用が生まれ、そして納税という形で返ってくる地域巡回社会へつながると思えます。



クリーンセンターへのごみの持ち込みについて

渡辺 拓哉 議員

問 現在クリーンセンターでは、建設廃材などの処分ができません。今の時代、職人でなくても自分でリフォームなどをして、楽しんでいの方も数多くいます。しかし、自分の家を直して出たごみなど分別して、トタンなどをクリーンセンターに持っていったとしても処分してもらえません。少数のごみを中間処理場に持っていくのは大変な手間がかかります。それならば、多少お金がかかってもク

リーンセンターで処分させてもらえれば大変助かると思います。また、処分費が収入となれば、市としても財政的に助かりますし、今までその辺に捨てられていたごみが処分されれば、まちがきれいになり、一石二鳥となるのではないのでしょうか。ぜひクリーンセンターでのごみを処分する種類の範囲を広げていただきたいと思えます。

答 【市民部長】 鉾田クリーンセンターは、一般廃棄物の処理施設であるため、産業廃棄物や、一般廃棄物であっても処理が困難なものについては受け入れを行っておりません。そのため、一般廃棄物の中にも処理が困難なものについては、処理が可能である業者を紹介することで、排出者が処分にならないようご案内しております。このようなことから、日曜大工等で排出された建築廃材などの中には、一般廃棄物として処理が可能な部材も含まれていることもあ

りますので、受け入れる範囲については、部材ごとに判断してまいります。なお、処分費の収入については、一般廃棄物のみしか取り扱うことができませんので、量によっては処分費を納付していただいております。トタンなどプララなどは火力を上げるのにとてもいいと思えますので、その辺りを検討していただければと思います。



本市におけるメロンサミットの開催について

小沼 勝 議員

問 今年6月に静岡県袋井市においてメロンサミットが盛況に行われたと伺っています。来年度は生産高日本一と言われる本市が開催地と聞いていますが、サミットの規模、内容、進捗状況をお尋ねします。

答 【産業経済部長】 開催日時は平成28年6月4日、5日を予定しており、会場は鉾田総合公園で行う予定です。規模は、1万人程度を目標としています。内容については、1日目

を関係者等の情報交換、交流、意見集約等を目的に、ビジネスサミットと称して、基調講演、パネルディスカッション、事例発表、各種提言発表などを検討しています。2日目については、一般の方を対象としたイベントを開催し、全国のメロン食べ比べや有名芸能人によるメロンPR、茨城の食PRブースなどの実施を考えています。進捗状況ですが、現在基本計画を策定しているところです。今後全国のメロン

が混乱したことです。原因として、メロンの食べ比べを行ったことがあります。鉾田市でも、メロンの食べ比べを実施する際には混雑が予想されるので、時間を区切り、整理券を配布して対応したいと考えています。袋井市の経費は、2735万円でした。鉾田市でも茨城県やJA、全農等からの補助金と、スポンサーからの協力などを考えて、なるべく市の負担がかからないようにしたいと考えています。



鉾田市における動物愛護の取り組みについて

水上 美智子 議員

問 最近市民の方々から、野犬や首輪がついている犬の放し飼いで困っているとの声を伺います。動物愛護の体制をどのように整備し、取り組みをしているか伺います。

答 【市民部長】 動物の問題は、社会全体で対応を行っていくことを明らかにしながら、今以上に市民の方々の意識改革を行っていく必要があると考えています。そこで、茨城県動物指導センターや動物愛護推進員、市内の獣医さん等と連携をとりながら、引き続き動物愛護の体制づくりを進めていきます。また、動物愛護条例の制定については、啓発運動を進めてきた結果、犬、猫の収容頭数は徐々に減少してお

り、さらに本年度からは、市内獣医師の協力を得て犬のしつけ教室を開催し、飼い主に対する動物愛護の精神をより高めたいと考えています。このようなことから、本市では現行の県条例や動物愛護推進計画に基づいて、これまで行ってきた事業の中で対応が可能であると判断しており、市独自の動物愛護条例の制定は現在のところ考えていません。

提言 現実の収容頭数を見てと啓発が、まだまだかなと感じますので、殺処分の数を減らす取り組みをみんなで盛り上げていかなければならないと思います。広島県神石高原町では、平成26年度からふるさと納税を活用して、ピースウィンズ・ジャパンというNPOと連携し、犬の殺処分ゼロを目指す取り組みを開始したそうです。鉾田市でも殺処分数を少なくするためにしっかりと取り組んでいただきたいと思います。



(仮称)市民交流館の整備事業について市民へ十分な説明がされているか

根 奇 眞 議員

問 (仮称)鉾田市民交流館は、市民と協働でつくり上げる鉾田市にとって初めての事業だと思えます。そして、市民が集い、実りある文化を創造し、喜びや生きがいを与える施設。全ての市民が積極的に参加して地域に根差し、地域に実りをもたらす文化を築き、生活に潤い、喜び、そして生きがいを与える活動の中心となる施設。後々の人々によいものをつくってもらったと感謝されるような施

設。そのような理念を基に施設を整備していかなければならぬと思えます。そのためにも市民へ説明が必要だと思えますが、十分な説明がなされていると思えますか。

答 【市長】 (仮称)鉾田市民交流館の整備につきましては、平成25年の市長選挙の大きな争点になりました。私は、選挙の中でも、市民の皆様方に丁寧にご説明申し上げ、多くの市民の皆さんにご支持を得たものというふう

考えております。基本計画については平成26年4月に区長会3支部の総会で、134区の区長さんに説明し、また広く一般市民に参加を呼びかけまして、4中学校区で説明会を開催いたしました。また、議員の皆様に対しても本会議や全員協議会を通じてその都度ご説明申し上げ、ご理解をいただけてきたところであります。さらに、各種団体の会議やイベント等においても、



プレミアム商品券の販売を振り返って、市の見解は

入江 晃 議員

問 プレミアム商品券について、大変大好評であった反面、体の不自由な方への配慮が欲しかったとか、何百セットも購入した人がいたという苦情やご提案をいただきました。反省も踏まえて市の見解を伺います。

5冊まで購入できるという形をとっていたことと併せて、旭総合支所、大洋のふらさと見聞館、鉾田中央公民館の3会場で販売を行ったことから、一部に何冊も購入する方が発生してしまつたのではと考えているところです。今後同様の事業を行う際は、購入上限数の徹底を図る観点から、事前のしがきなどによる予約販売方式などの導入、また周知方法の改善などを検討した上で、今回の販売を教訓にして実施していきたい

再質問 なるべく多くの方に買っていただくため購入数を5セットまでに絞るはずが、なぜこのようなことが起きてしまつたのかお聞きします。あと、体の不自由な方たちにはあらかじめ通知を出して、希望をとって対応するべきだったかなと思つていますが、考えを伺います。

【産業経済部長】商品券の多額購入についてですが、今回1人当たりの商品券購入冊数は最大5冊までと上限を設けていたのですが、列に並び直していたら、再度最大



安全保障法制について、市長の考えは

高野 衛 議員

問 安全保障法制について、自衛隊を戦場に駆り立てるこの法案に対し、市長はどのように考えていますか。

安倍政権は、法案の明白な違憲性や国民の6割が反対しているという世論を無視しています。圧倒的多数の憲法学者、元内閣法制局長官に続いて、最高裁判所長官を務めてきた山口繁さんも、この法案を憲法違反と断じています。市長の所見を伺います。

再質問 海外派兵についてこれまでは紛争のない地域に限定されていたものが、今回の法案では戦闘地域での自衛隊の活動が可能ということ、また攻撃をされれば武器の使用も可能という中身

【市長】集団的自衛権、また、自分の国を自分で守るという観点から見ると、中国、また北朝鮮、そういう社会情勢の変化によっては、与党としてはこういうことも整備をしなければならぬというところもある程度理解できると思っています。



(仮称)鉾田市民交流館の建設について

岸田 一夫 議員

問 国立競技場やつくば市の総合運動公園の白紙撤回の問題があり、つくば市では住民投票が行われました。このような状況において、鉾田市民交流館も、設計会社が民事再生法の適用を申請している中でこの事業を進めることに不安が払しょくできません。

【市長】維持費については、整備推進委員会からご指摘をいただいております。確かに要点をまとめた議事録程度になっていないことは否めません。一言一句漏れなくとなりますと非常に労力、時間的にもかかりますが、なるべく意向に沿ったようなきめの細かい議事録を作成して、速やかにホームページに掲載するよう進めてまいりたいと思っております。

再質問 建設費用についてはどうか。

【市長】維持費については、建物も設備も決まっていけないので金額は把握できないと考えております。



(仮称)市民交流館整備事業の取組みと情報発信について

井川 倫士 議員

問 整備推進委員会及び分科会、庁内ワーキングチームにおいて、また、議会においても特別委員会が設置され活発な議論がなされております。「市民協働のまちづくり」の取組みとして、市民参画により平成19年12月にまとめられた「鉾田市文化複合施設基本構想中間報告及び提言」を、ソフト面で反映させてこなかったのはなぜか伺います。

【総務部長】ソフト面の整備については、鉾田市総合計画後期基本計画の中でも文化芸術活動の活性化ということとどうたつております。今後は文化振興計画を取り急ぎ整備していきたいと考えております。ソフト面の整備は、東日本大震災での事業の停滞や議会で本事業が凍結になったことも含めて確かに遅れていることは認めさせていただきます。今後実施計画と並行してソフト面の管理運営計画も進めていきたいと考えております。

再質問 ホームページに交流館整備事業についての議事録が掲載されておりますが、整備推進委員会の議事録は、5月の第2回以降の情報公開がなされておられません。大きな市のプロジェクトですから、後世の人間がこの事業を誇って納得できる情報公開を求めたいです。また、この議事録は業者任せと感じるものが散見されます。内容の濃いものとしてホームページに掲載していただき

たいと思います。【総務部長】議事録の件については、整備推進委員会からご指摘をいただいております。確かに要点をまとめた議事録程度になっていないことは否めません。一言一句漏れなくとなりますと非常に労力、時間的にもかかりますが、なるべく意向に沿ったようなきめの細かい議事録を作成して、速やかにホームページに掲載するよう進めてまいりたいと思っております。

委員会活動報告

主な議会の動静



百里基地関連予算 に対応した事業の 概要について

郡 司 功 議員

問 本年度当初予算の歳入に百里基地関連の交付金または補助金があります。総務費国庫補助金の中で特定防衛施設周辺整備調整交付金1億5500万円、防音事業関連維持費補助金610万円、再編交付金7673万7000円とありますが、これに対応した事業について伺います。

答 【総務部長】27年度の百里基地関連の事業については、交付金が2つあります。1つ目はジェット機が離

着陸する飛行場や砲撃などが行われる演習場について、生活環境や地域開発に影響を受けている周辺市町村に対して交付され、公共施設の整備に使用できる「特定防衛施設周辺整備調整交付金」です。こちらは今年度の交付額は1億5500万円です。主な事業内容は、ほっとパーク鉾田の施設改修事業、消防自動車購入事業、旭給食センター設備の更新、市道維持補修事業、道路改修事業、中学校維持管理事業、

総合公園改修事業を予定しています。次に、2つ目の米軍再編で基地負担がふえる市町村に対して、教育・文化振興に関する事業や防災に関する事業、生活の安全向上に関する事業、福祉増進及び医療の確保に関する事業等に使用できる「再編交付金」で、本年度の見込み額は7637万7000円です。現在整備中の北中学校整備事業の一部財源として基金の積み立てに充てられています。

提言 大和田学区では、大和田学区騒音環境対策協議会が組織されており、その協議会から市に対し要望事項が提出されていると思います。一つでも多くの要望が実現されることを望みます。それから、ジェット機の離発着時には当地区の上空を低空で飛行します。その際に、電話の発信に非常に障害をきたしています。これは実害です。早急に電話料金等の補助を検討していただきたい。

- 8月
- 5日 県市議会議長会定例会
 - 6日 全員協議会
 - 17日 議会広報編集委員会
 - 19日 総務企画常任委員会
 - 21日 全員協議会
 - 24日 議会運営委員会
 - 24日 平成27年第3回臨時会
 - 24日 (仮称)市民交流館整備に関する特別委員会
 - 24日 小学校跡地利活用にに関する特別委員会
 - 27日 新人議員研修会
- 9月
- 2日 (仮称)市民交流館整備に関する特別委員会
 - 4日 議会運営委員会
 - 10~30日 平成27年第3回定例会
 - 11日 (仮称)市民交流館整備に関する特別委員会
 - 24日 決算特別委員会
 - 24日 総務企画常任委員会
 - 25日 決算特別委員会
 - 25日 経済建設常任委員会
 - 28日 決算特別委員会
 - 28日 厚生文教常任委員会
 - 28日 小学校跡地利活用にに関する特別委員会
 - 30日 議会運営委員会
 - 30日 議会広報編集委員会
- 10月
- 5日 (仮称)市民交流館整備に関する特別委員会
 - 14日 平成27年第4回臨時会
 - 14日 小学校跡地利活用にに関する特別委員会
 - 26日 平成27年第5回臨時会
 - 26日 県東市議会議長会
 - 27日 茨城県市議会議長会定例会

**ホームページで
一般質問の会議録が見られます**

市のホームページで、本会議の会議録を公開しています。

①鉾田市のホームページへアクセスする。
アドレス <http://www.city.hokota.lg.jp>

②市ガイド内の「鉾田市議会」をクリックする。

③会議録をクリックする。

なお、今定例会の会議録公開は、12月頃の予定です。本会議の会議録(冊子)は、市立図書館で閲覧できます。

鉾田市役所ホームページ

議会広報編集委員会

開催日：平成27年8月17日(月)

議会広報編集委員会を開催し、鉾田市議会の広報についての現状を確認した後、鹿嶋市議会の広報活動について研修を行いました。

鹿嶋市議会での主な広報活動の3点を説明していただきました。1つ目は市議会だよりの発行、2つ目は市議会Webページ・SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の活用、3つ目は一般質問の録音中継・映像発信です。

市民により分かりやすく議会活動を情報発信することは大変重要なことですので、今回の行政視察の成果を今後の議会広報委員会の活動に生かしていきます。



総務企画常任委員会

開催日：平成27年8月19日(水)

総務企画常任委員会を開催し、災害対策施設の調査について、神栖中央公園(土研跡防災公園)を視察し、所管事務調査を行いました。

この公園は、国の土木研究所の跡地であり、国が払い下げる時に、民間にはなく神栖市に払い下げるには、公共性が重要視されました。そこで、平成20年度に土地利用整備計画を策定し、利用目的を防災公園に定めました。

今回の所管事務調査の結果、鉾田市の避難所のありかたや整備の方法を検討して行く必要があると感じました。



(仮称)鉾田市民交流館整備に関する特別委員会

開催日：平成27年8月24日(月)・9月2日(水)・11日(金)

平成27年8月24日の第3回臨時会で設置された特別委員会を3回開催しました。

第1回の委員会では、委員会の今後の進め方について協議し、第2回の委員会では、市民交流館の建設予定地の現地視察を行った後、小美玉市の「四季文化館のぐれ」の視察を行いました。

第3回の委員会では、市民交流館整備推進委員会から参考人を招致し、市民交流館の整備に関してこれまでの経緯や組織の概要、また、今後のスケジュールや活動予定の説明を受けました。

平成27年9月18日の第3回定例会において、委員定数を削減する議案が提出され、採決の結果、賛成多数で可決されました。

これにより、本委員会の委員の定数は、20名から8名減り、12名に変更となりました。



小学校跡地利活用に関する特別委員会

開催日：平成27年8月24日(月)・9月28日(月)

平成27年8月24日の第3回臨時会で設置された特別委員会を2回開催しました。

本委員会は、旧町村ごとの議員4名ずつで構成され、鉾田北中学校・鉾田南中学校区の議員も2名ずつおり、各中学校区の実状や意見を広く取り入れられるようになっていきます。

本委員会は設置の目的は次のとおりです。
【鉾田北中学校区の小学校5校が1校に統合されるのに伴い、その5つの小学校が廃校となります。また、鉾田南中学校区についても新しい場所に統合小学校が建設され、大洋中学校区、旭中学校区の統合についても順次進められていく予定となっています。

小学校は、地域の中心施設として、地域の皆様のご協力をいただき、コミュニティの核として機能していきます。これらの施設を統合後どのように活用していくかが大きな課題であります。この課題に取り組むことが、地域再生にもつながるものでありますので設置いたしました。」

第1回の委員会では今後の進め方を協議し、第2回の委員会では、北中学校区の小学校の世帯を対象としたアンケートや、学校跡地の利活用について進んでいる県北地域の取り組み方などの資料を基に協議しました。



請願審査及び意見書の提出

請願第27・3号

教育予算の拡充を求める請願

審査結果：採択

9月10日の本会議において厚生文教常任委員会に付託されました「請願第27・3号 教育予算の拡充を求める請願」について、9月28日委員会を開催し、請願紹介議員の出席を求め審査を行いました。

【審査経過と結果】

将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要であります。しかし、地方交付税削減の影響や厳しい地方財政の状況などから、自治体が独自財源で学級の少人数化を拡充することは困難な状況になっております。子どもたちの教育環境を充実させるために、義務教育費国庫負担制度を堅持することは大変重要であることから、引き続き政府は、人的・物的な援助や財政的な支援をすべきと考え、国の教育予算の拡充を求める本請願趣旨は妥当であると意見が一致しました。

採決の結果、全会一致で採択とすることに決定しました。

【本会議での審議】

9月30日(水)の本会議において、請願第27・3号 教育予算の拡充を求める請願については、委員長報告のとおり全会一致により採択となりました。その後、同日付けで厚生文教常任委員会から『教育予算の拡充を求める意見書の提出について』が議案として提出され、本会議において、全会一致により原案可決となりましたので、関係機関へ地方自治法第99条の規定による意見書を下記のとおり提出しました。

教育予算の拡充を求める意見書

子どもたちに豊かな教育を保障することは、社会の基盤作りにとってきわめて重要なことである。特に学級規模の少人数化は保護者などの意見募集でも小学1・2年生のみならず各学年に拡充すべきとの意見が大多数である。地方は独自の工夫で学級規模の少人数化をすすめてきているが、地方交付税削減の影響や厳しい地方財政の状況などから、自治体が独自財源で学級の少人数化を拡充することは困難な状況になっている。

また、東日本大震災等において、学校施設の被害や子どもたちの心のケアなど教育の早期復興のための予算措置、早期の学校施設の復旧など政府として人的・物的な援助や財政的な支援に継続的に取り組むべきである。

したがって、教育予算を国全体として、しっかりと確保・充実させるため、次の事項を実現されるよう、強く要望する。

1. きめ細やかな教育の実現のために少人数学級を推進すること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、その根幹となる義務教育費国庫負担制度を堅持すること。
3. 震災からの教育復興のための予算措置を継続して行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年9月30日

茨城県鉾田市議会

内閣総理大臣	安倍晋三	殿
内閣官房長官	菅義偉	殿
文部科学大臣	下村博文	殿
財務大臣	麻生太郎	殿
総務大臣	高市早苗	殿

傍聴者の声



大和田区長
井川 勲

第3回鉾田市議会定例会を傍聴しました。議員定数が20名となった6月の改選後初めての定例会ということもあり、新人の議員全員が熱心に質問をされていたことが印象に残っています。質問事項も道路整備事業、茨城国体、小学校統合後の住民の評価、市経営における財源確保、百里基地関連予算、鉾田市民交流館事業の説明など様々な質問が出ていました。執行部の皆さんも丁寧に答弁していました。

自分にも関心のあることも聞けましたので有意義な傍聴でした。

平成27年第4回(12月)定例会日程(予定)

月 日	会 議 内 容
12月1日(火)	本会議開会
12月3日(木)	一般質問
12月4日(金)	一般質問
12月7日(月)	委員会
12月8日(火)	委員会
12月9日(水)	委員会
12月11日(金)	本会議閉会

※日程は変更になる場合があります。

平成27年第3回(9月)定例会の延傍聴者数 88名



写真提供:青柳地区 渡辺 清氏

編集後記

議会広報編集委員会も新体制で2回目の「議会だより」発行となりました。前号で郡司委員長からもありましたとおり、議員の活発な議論を正確に、そしてわかりやすく皆様にお伝えすることを念頭に研究を重ねている段階です。

その中で、近隣の先進事例である鹿嶋市をさる8月17日に視察して参りました。

鹿嶋市では市民の方に分かり易い広報を何年も掛けて研究し「市民が主役」の考えの元に、頁の企画や編集を行うことは勿論、議会の生中継や録音中継に加えて、Facebookページを活用した取り組みも実践されておりました。

広報誌ばかりでなく、その他工夫を凝らして市民への透明性の高い議会、親しみやすい議会を目指していこうと考えております。

(井川倫士副委員長 記)

委員長 郡司 功
副委員長 井川 倫士
委員 小沼 幸義
岸田 一夫
亀山 彰
渡辺 拓哉